



「地方拠点法と富士地域の未来」 を考えるシンポジウム開催

5月18日 市は昨年、地方拠点都市地域に指定されました。これは、現在東京に集中している都市機能を地方へ分散し、地方都市を魅力ある街に整備していこうというもの。富士市では、新幹線新富士駅周辺を拠点地区として、10年の計画でこの地区を中心に、21世紀の夢のある地域に整備します。

そして今回、富士商工会議所等との共催で、富士地域の将来を考えるシンポジウム「地方拠点法と富士地域の未来」を、ホテル・グランド富士で開催。地域開発の専門家などによる基調講演、パネルディスカッションが行われ、未来へ羽ばたく富士市の将来像について、活発な意見が出されました。

大自然の空気を吸いながら体づくり 「富士ふれあいウォーク」

5月29日 「富士山と一緒に歩こう」をテーマに、毎年恒例の富士ふれあいウォークが行われました。新緑の中、5月のさわやかな日差しを受けながら体づくりをと参加した人は、小学生からお年寄りまで約430人。コースは20キロと42.195キロの2つ。富士総合運動公園陸上競技場をスタートし、丸火自然公園から富士山南麓まで、森林のおいしい空気を吸いながら、それぞれのペースで歩きました。



オーシャンサイド ナウ Vol. ⑫



このコーナーでは、富士市の姉妹都市オーシャンサイドの広報担当、ラリー・バウマンさんから送られてくるホットな情報をお知らせします。

ハロー！皆さん。まず初めに、4月に行った「芸術の日」に、富士市の芸術家から多くの作品を出展いただき、大変好評でした。ありがとうございました。

さて今回は、三宅久美子さん(瓜島)ほか多くの人からいただいた「一般市民の生活は」という質問にお答えします。

●ベビーシッターは必要不可欠

オーシャンサイドの家庭は、ほとんどが核家族。仕事のため、家族はアメリカ中に散らばり、祖父母、叔父といった親類とは別々に暮らしています。そして多くの家庭で、夫、妻とも仕事に出ているため、子供のいる家ではベビーシッターが親がわりとしてなくてはならないものになっています。

●夕食は家族がまとまる大切な時間

仕事は大体8時から5時まで。大きな工場では三交代制をとっているところも。通勤に2時間くらいかけている人もいます。

仕事が終わると真っすぐ家へ。家族一緒に夕食を楽しみます。夕食は、家族が一つにまとまる大切な時。お互いその日の出来事を話し合ったりします。夫婦両方とも仕事に出ている家庭では、料理や後片づけを夫婦そろってしている光景も見られます。

●週末には庭でバーベキュー

土日は、ほとんどの会社がお休み。余暇活動や庭の手入れをします。庭の手入れは、典型的な男の仕事。みんな庭つきの家に住んでいるので、定期的な手入れが必要なんです。

余暇活動はいろいろありますが、代表的なのはスポーツ。野球やサッカー、またきれいなビーチがありますので、サーフィンなどのマリンスポーツも人気があります。70歳でサーフィンを楽しんでいる人もいますよ。

快適な気候を生かした週末の過ごし方は、庭でのバーベキューパーティー。友達や近所の人を招待して、家族と一緒にリラックスした時間を過ごし、再び始まる一週間へ備えます。

では、また広報ふじでお会いするまで、サ・ヨ・ナ・ラ！